

第95回宮様スキー大会国際競技会



たちぎき みきと
立崎 幹人
1等陸尉

たけうち みこと
竹内 美琴
陸士長

バイアスロン 優勝

令和6年3月1日(金)から3月3日(日)の間、雪降りしきるなか北海道札幌市白旗山競技場及び西岡バイアスロン競技場で冬季競技6種目を競う「第95回宮様スキー大会国際競技会」が実施された。本校からは、バイアスロン班10名、クロスカントリースキー班4名が出場し、バイアスロン競技ではリレー種目(男子7.5km×4名、女子6km×4名)及びインディビジュアル種目(男子20km・女子15km)において男女ともに表彰台を独占した。クロスカントリースキー競技では10kmクラシカル種目3位、15kmフリー種目3位を獲得した。



バイアスロン

ながおか けいた
長岡 溪汰
3等陸曹

さとう あおい
佐藤 葵
2等陸曹

男子20km第3位の長岡3曹(左)、女子15km第2位の佐藤2曹(右)

バイアスロン競技の男子インディビジュアル種目で立崎幹人1等陸尉は、高い命中率85%と他を圧倒し後続の選手を大きく引き離し9年ぶり2度目の優勝を果たした。

立崎1尉は「終始勝ちを意識したレースをすることが出来た。実力を大会で発揮するためには意図的に自分にプレッシャーを与えることも必要なこと。トレーニングでも普段からイメージしていることが、実際の大会でできたことは、今後に繋がるいいトレーニングにもなった。」と語った。

女子インディビジュアル種目で竹内美琴陸士長は、命中率70%とやや低調であったが走力で他を圧倒し2位に1分17秒差をつけ初優勝した。

竹内士長は「たくさんの応援とサポートのおかげで優勝することができた。今年は海外レースで経験した多くのことを、今回のレースに生かすことができた。来シーズンは、冬季アジア大会がありチーム一丸となって今以上に頑張りますので、引き続き応援よろしくをお願いします。」と次への意気込みを語った。

クロスカントリースキー競技の10kmクラシカル種目で、山下陽暉2等陸曹は前半5kmを1位と14秒差の5位で通過、後半追い上げるも1位選手から25秒差の3位となった。

山下2曹は、「3位という結果は、満足のいくものではなかったが、今回の課題を次のワールドカップまでに修正し次戦へ臨む。」と力強く語った。なお、山下2曹は3月15日-17日にもスウェーデン(ファールン)で開催されるワールドカップに出場予定である。

15kmフリー種目で田中聖土2等陸曹は自身4連覇のかかったレースとなった。前半からスピードに乗り6km通過時点で1位選手から11秒差の2位通過、後半追い上げるも惜しくも優勝を逃し3位となった。

田中2曹は、「4連覇を狙っていたが、執着しすぎずリラックスして臨めた。力及ばず叶わなかったものの、尽力いただいたスタッフには本当に感謝している。」と語った。

選手達の戦いは2025冬季アジア大会(中国(ハルビン))、そして2026冬季オリンピック(イタリア(ミラノ・コルティナ))へと続いていく。



クロスカントリースキー

たなか まさと
田中 聖土
2等陸曹

やました はるき
山下 陽暉
2等陸曹

15kmフリー第3位の田中2曹(左)、10kmクラシカル第3位の山下2曹(右)

総合成績				バイアスロン			クロスカントリースキー				
氏名・階級		出身	順位	男子20km			10kmクラシカル				
立崎 幹人	1等陸尉	(秋田県)	第1位	山下 陽暉	2等陸曹	(富山県)	第3位	田中 聖土	2等陸曹	(秋田県)	第4位
長岡 溪汰	3等陸曹	(北海道)	第3位	女子15km			15kmフリー				
竹内 美琴	陸士長	(長野県)	第1位	田中 聖土	2等陸曹	(秋田県)	第3位	蛭名 貴徳	3等陸曹	(青森県)	第4位
佐藤 葵	2等陸曹	(秋田県)	第2位								
福田 光	3等陸曹	(北海道)	第3位								

